



昨年度
実施した
プログラム

次世代を担う子どもたちの、生きる力を育むために ぜひご活用ください！

本事業は、単なる芸術鑑賞や体験の機会ではなく、
学校とアーティストがいっしょに考えるオーダーメイドのプログラムです。
子どもたちにとってより良い時間となるように、
先生方との打ち合わせを元に内容を検討します。



申込にあたって



対象は？	堺市立の小学校・中学校(特別支援学級を含む)、および特別支援学校。
内容は？	申込時のご希望を基に、打ち合わせを経てから決定します。
学校内で希望する先生が複数いても大丈夫？	学年単位でご応募ください。(1校で複数の学年の申込も可。) 原則1校1学年の実施としますが、全体の応募状況によっては、複数学年での実施が可能となる場合もあります。 <small>※他の学校との重複や芸術家の都合等により、開催内容や時期は完全にご希望に添えない場合があります。</small>
経費は？	芸術家の派遣に係る経費(謝礼金・委託料・企画料・材料費等)は、主催者：堺市文化振興財団が負担します。実施施設・設備に係る経費(光熱水費・会場使用料等)は実施校においてご負担ください。

実施までの流れ(予定)

4月上旬	受付開始
4月28日	応募締切
5月中	実施校決定
6月～実施2か月前	打ち合わせを基に芸術家と内容調整 <small>※確定まで打ち合わせが数回ある場合もあります。</small>
実施1か月前	実施内容決定
本番	設営・実施・3者振り返り(30分程度) <small>※終了後アンケートにご協力ください</small>



- 実施当日は写真撮影をいたします。記録されたものは堺市文化振興財団ホームページ、Facebookへの投稿、堺市等への事業報告資料への添付、次年度募集要項への掲載等の用途で使用いたします。撮影不可の個人がいる場合、打ち合わせ時にお申し出ください。
- 実施後は先生用と児童・生徒用のアンケートにご協力ください。(回答必須)

〈さかいミーツアート〉は「自由都市堺文化芸術まちづくり条例」第10条、第11条、第12条及び第2期堺市文化芸術推進計画重点的施策1-1、2-1に基づき実施しています。

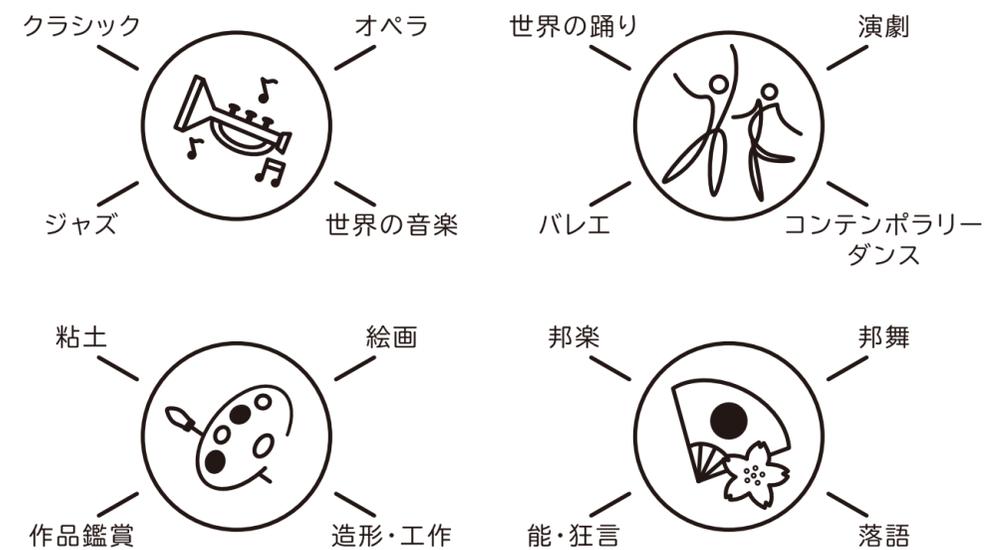


令和7年度 さかい ミーツ アート 実施校募集

〈さかいミーツアート〉とは、
堺市内の小中学校に芸術家を派遣して
コンサートやワークショップを実施する事業です。
次世代を担う子どもたちの生きる力を育み、
豊かな人生を送ることができるように、
文化芸術の側面から子どもたちと向き合います。
音楽、美術、ダンス、演劇といった
さまざまなジャンルがあり、
学校・アーティスト・コーディネーターが
連携をとりながら芸術プログラムを作ります。

芸術教育コース

質の高い芸術体験の提供を通じて、芸術を楽しみ、理解し、または携わるきっかけを提供するコースです。
その後の長い人生を芸術と共に豊かに送ることができる子どもの育成をめざして、芸術家の視点から授業を企画・実施します。



こどもの声

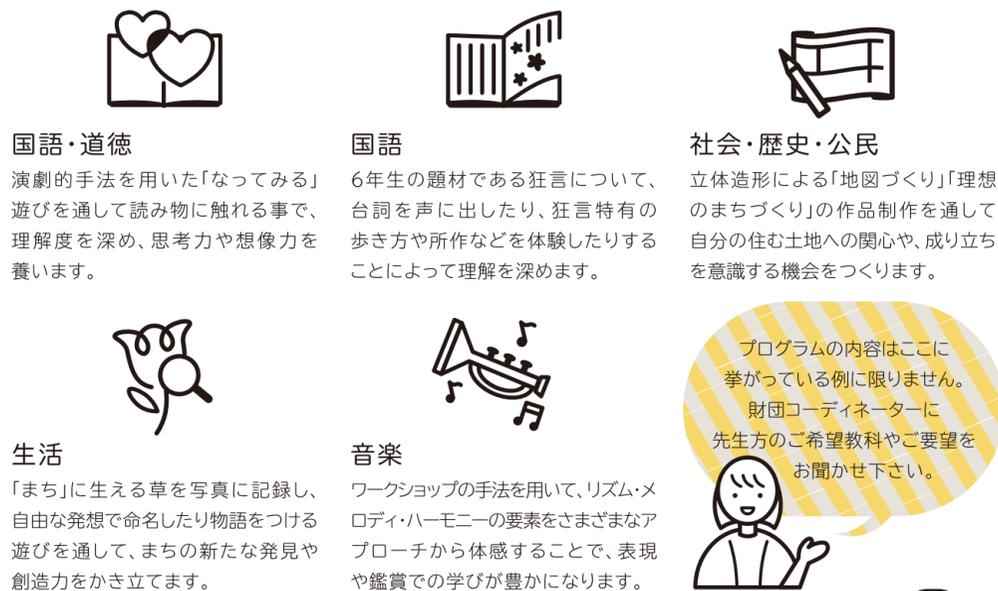
- 世界にはいろいろな楽器や曲、表現の仕方があるということに気づきました。(世界の音楽)
- きれいなおどりを見て、心がぼかぼかした。(バレエ)
- 言葉できもちを伝えるのではなく、からだの表現で思いを伝えているのがすごかった。(ダンス)
- 伝統芸能ってこんなにおもしろかったんだ!(狂言)

先生の声

- ふだんの生活では出会えないものに出会い、想像がかきたてられたようでした。(音楽)
- プロの技に触れ、驚きと喜びを感じ、豊かな表現方法を知ることができました。(ダンス)
- 自由に発想することが苦手な児童にとって、とても良い経験となりました。(造形)
- 教室に戻ってからも、アーティストの真似をしていました。(伝統芸能)
- 新しい聴き方を発見し、芸術に触れる心の素地ができたと思います。(音楽)

授業アシストコース

音楽や美術・図工だけでなく、国語、社会、体育、生活といった学校の授業における学びを芸術によってアシストするコースです。「学習の狙い」や「めあて」を基に先生方と相談の上、芸術家と連携して授業を企画・実施します。



こどもの声

- 狂言では、歩くだけでも姿勢や足の動かし方などの工夫をしているんだな、と分かりました。(国語)
- 教科書で読むのとは違って、表現がすごく自由だと思いました。(国語)
- 5拍子のリズムに合わせて、ふりつけを考えておどったことが楽しかった。(音楽)
- 音楽をつくるのは難しいと思っていたけれど、楽しいものなんだな、と気づきました。(音楽)

先生の声

- 授業でやってきたことを更に深めて学べる機会となりました。狂言は喜劇だと習ってはいましたが、実際に触れて初めてその実感が湧いたと思います。(国語)
- いつもより色や画材の感触を確かめながら制作していました。(図工)
- 他者が鳴らした音を聴いた上で、自分がどう鳴らすかを考えることができ、ふだんの合奏にもつながる体験となりました。(音楽)

コミュニケーションコース

子どもたちの自主性、協働性、自己肯定感、想像力といった生きるうえで大切な力を手にするきっかけを、芸術を通じて提供するコースです。子どもたちの日頃の様子や先生方の希望を基に、芸術家と連携して授業を企画・実施します。

たとえば…

表現教育プログラム

個人のエピソードを即興劇にするなどの活動を通して、多様な背景にある子どもが、自分の表現を主体的に考え、また他者の表現も楽しみながら受け取ることができる演劇あそびです。



制作

自分のアイデアを形にしていく過程は、自分自身と向き合う時間となり、作品に表現としてあらわれます。また、思わぬところで互いに影響しあいながら、ゆるやかに協働していくこともあります。



音楽ワークショップ

楽譜を読む、楽器を弾くといったスキルのある無しに関わらず、その場にいるみんなで演奏をしたり、音楽を創作したりします。音楽の喜びを通して、自分も他者も大切にすることができるようになります。



こどもの声

- お友達の話をもとにしてみたのが楽しかった。(表現教育)
- からだを動かしながらお友達のことを知ることができました。(表現教育)
- 失敗をしても逆にそれが個性になるところが良かったです。(制作)
- 1つの楽器でたくさんさんの表現ができ、間違いは無いというのがすごく楽しかったし、嬉しかったです。(音楽ワークショップ)

先生の声

- 恥ずかしがって自己表現できなかった子が、のびのび体を動かしていた。(表現教育)
- 意見の聞き合いが自然に発生し、芸術を通して自主的に協働する姿が見られました。(制作)
- 枠にとらわれず自由に表現することができ、自尊感情が高まりました。(制作)
- 音楽を自分たちで作るといふことに意義を感じていました。(音楽ワークショップ)